



# 創立50周年

大阪府立旭高等学校  
同窓会会長(四期生) 上浦 康平



21世紀スタートの年、日本は、経済・世情・環境・教育・文化等すべてに「原点に戻れ」と天

から「忠告」を受けているような厳しいスタートになっているのではないだろうか。この厳しい中、府立旭高等学校同窓生諸君が頑張っている姿を頭に描きながら「旭窓」のあいさつを綴っているところです。

我が母校に対し、2万人の同窓生諸君と心から誇り高々に感謝をしようではありませんか。「原点」がある我々はどんな苦境にも耐えていけるではありませんか。20世紀後半、激しい社会変化の中我が母校はその変化に対応しながら「個人尊重」「社会共同」「尊敬と親愛」の風風を守り続けてきたのです。



## 母校創立五十周年 母校とは!!

学校長 圓井 和正

卒業生の皆様、お元気でしようか。「旭窓」紙上での二度目のご挨拶となりました。母校旭高校もいよいよ、今年で五十年目を迎えることになりました。一期生の皆様は旭高校の最初の名称第48高等学校に入学されて以来五十年目となります。五十年と言えば半世紀に相当しますが、この五十年間は長かつたでしょうか。それとも短く感じましたでしょうか。半世紀の実感は昔、歴史の時間に留った半世紀のイメージと比べて如何でしょうか。

規程ある明るい社会を作るべく教育の場のリーダーとなるべく「府立旭高等学校」として、今後発展成長してもらいたいと願います。21世紀は社会人教育の原点に戻るのをはじめ、人間と自然のふれあいを大切にす原点に戻れるかが課題の世紀だと思えます。我が母校創立50周年がそのスタートラインになるべく記念行事を期待しているところです。そしてそれぞれの諸君の経験や情報として語り合える場が「同窓会」だと思います。10月24日の国際会議場での「創立50周年記念行事」には、ぜひ同窓生全員の参加を期待し、興奮しながらの創立50周年の感激を「旭窓」の挨拶といたします。

昔は人生五十年とも言っていました。今は平均寿命がそれより三十年以上も延びています。とにかく、母校旭高校も50年の歴史を経て、来る十一月二十四日にお祝いの記念式典を催します。引き続き関西フィルハーモニー楽団による記念公演もあつたります。是非、同窓生の皆様の参加をお待ちしています。一期生に続き、この五十年間に卒業された卒業生の総数は二万人近くなります。多数の卒業生の参加を期待しています。今回、五十年を記念して記念誌の製作も進んでいます。旭高校をみればこの五十年間の旭高校の歩みを垣間見ることが出来ます。この五十年間、旭高校もそれぞれの時代のさまざまな荒波に洗われながら今日の旭高校の姿があることが伺われます。

卒業生諸氏の母校は今五十歳になりました。その間多くの優秀な卒業生を社会に輩出し、今日の名声を得ることが出来ました。この節目を契機に、「母校とは何か」との思いを馳せて、今一度母校を考える良い機会として、記念式典に参加してみても如何でしょうか。「母校とは」を抱いて、教えたもつた先生なのか、それとも同窓の卒業生なのか、いろいろな思いがあるかも知れません。勿論、これらすべては母校という概念の重要な要素であることは確かなのですが、卒業生共通の母校とは何でしょうか。卒業生共通の思いは、同窓の卒業生集団ではないかと思うことがあります。

卒業生諸氏のそれぞれ思いを抱いて、同窓の友人達に声を掛け合つて、五十年記念式典に、記念公演に、祝賀会に大集合してみませんか。同窓として共有する「熱い思い」を持って集まり、みんなで作る創立50周年をお祝い出来ることを願つてご挨拶いたします。



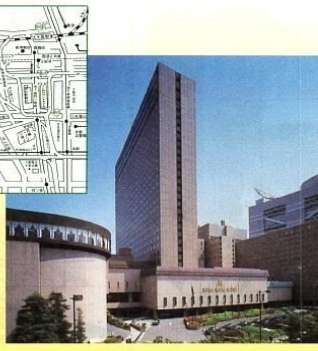
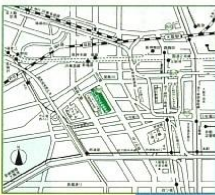
立50周年の感激を「旭窓」の挨拶といたします。

# みんな集まれ! 創立50周年記念式典・祝賀会のお知らせ

今年、母校は創立50周年を迎えました。これを記念し、式典・祝賀会を下記の日時に行います。旧友に再会し、なつかしいあの頃に戻ってみませんか?

- |       |  |
|-------|--|
| 式典日時  | 平成13年11月24日(土)<br>受付 午前9時より<br>開式 午前9時30分<br>開演 ランキューブ大阪<br>(大阪国際会議場) メインホール |
| 祝賀会日時 | 平成13年11月24日(土)<br>受付 午後0時30分<br>開演 午後1時                                      |
| 場所    | リーガロイヤルホテル<br>タワーウイング3Fロイヤルホール   |
| 会費    | 10,000円  |

※同封の振込用紙でのご入金をもって、「参加」とさせていただきます。当日納入も可能ですが、事前確認の為にも出来る限りご協力下さい。



関西フィルハーモニー管弦楽団

# 同期会だより

## 五期生第三回同期会

遠藤 敬子

○一年六月十六日(主)午後三時、西梅田於・リッツカールトンホテルに於て九年振りにも第三回同期会が開催されました。私達は本年三月をもって全員めでたく?還暦という節目の年をクリアしたので。

その人生の奇跡をしつかりとした風貌に漂わせた男女六〇余人が久し振りに一同に会し青春・朱夏の時代を熱くそしてこれからの白秋をお互い旧交を深

め、心豊かにすごしていこうと参加出来なかった諸氏にも想いを馳せながら語り合いました。アルパシ演奏によるオールディスラテンミュージックのもと心地よい興奮の中に時間は流れていき、それがクライマックスに達したのは「学生時代他」一校

歌」そして「見よ五期生」の合唱の時でした。その興奮の渦の中で、心を残しつつも再会を約束し閉会しました。「見よ五期生

は故左近弘治・松村督之先生作詞作曲によるもの、校歌のなかつた私達にとってはそれに匹敵するもの、いやそれ以上の熱き想いの曲なのです。



## 第17期生 卒業30周年記念同窓会開催!

17期生 辻 幹生

私たち17期生は、昭和46年に旭高校を卒業しました。卒業後行われた同窓会の総てに私は幹事としてお手伝いさせて頂いています。行なつた同窓会は、昭和50年代には二度あります。これは旧二年七組のクラス会でした。三年の受験を意識していた友人とではなく、修学旅行なども一緒に行き、楽しんだ思い出がいっぱいある友人との同窓会を行ないました。二度とも20名程度の出席があり盛況でした。

平成8年に、卒業25周年記念同窓会を行ないました。出席者数は40名程度でした。

そして今回の卒業30周年記念同窓会になりました。平成13年6月9日に南海サウスタワーホテルで行ないました。出席者は40名程度です。第17期生の同窓会として百名程度の出席を目指したいと考えています。

ルで行ないました。出席者数は、男性18名、女性32名の合計50名でした。男性の出席者数が少ないのが問題と感えています。将来的には生命力の差で婦人団体的ようになるとは思いますが、まだまだこの年齢では少々早過ぎますね。二次会は同じ南海サウスタワーホテルのトップラウンジで行ないました。一時会は都合で欠席されたのみ出席してくれた同窓生が五名ほどいました。



## バレーボール部OB会 20期生 居相重幸



六月十日、毎年夏の恒例行事となつているバレー部OB会が、転任に伴う新旧両顧問の歡送迎会を兼ねて開かれました。一期生から名を連ねるOB会名簿の、実質半数以上を指導いただいた榊上先生、永い指導ありがとうございました。教え子が多数集まり、寄せ書きのボールが贈られ、盛況な惜別の宴となりました。

新顧問の北島先生は、私と同時代に、バレーをされていたとの事。私には、今や、ルールもボールの色も、様変わりして、少しいて行けない服のあるバレーですが、「一番は体力」。スポーツの感動や充実を味わう喜びに、変わりがあははずもなく、両先生のバトンがしっかりと受け渡された今、これからも頼もしい。OB会員が増え続ける予感がありました。(願望も)

ボールが地面に落ちる前に打ち返すという意味を持つバレー。OB会もその名にちなむ存在になればと思います。



## 「旭だから生徒会に入りたくなった」

生徒会長 中島 舞

私は旭高校が大好きな生徒会長の中島舞です。私は旭に来て旭でしか得られないものをたくさん手に入れ、成長しているような気がします。

はりきるのが好きな私には行事ごとに盛り上がりを見せる旭との相性はよく、すぐに旭色に染まってしまう、もともといるんな場面で旭を見たり、旭というものを知つてたのしみだと思つたからです。

今の生徒会をどうしよう旭好きが集まったメンバーです。私たちはいろいろな人に旭のよさ(ひとつひとつの行事に、参加する

みんなが一つとなつて燃え尽きる。そして燃えたあと気がつけば一人一人が大切な、なにかを手に入れて成長していく、そんなところを知つてもらいたい。そのために私たちの一番大きな仕事を文化祭に実行委員も含め熱を入れていきます。いろいろなことにチャレンジしている中で全てが成功するとは言、切れます。

しかし、文化祭という私たちの最後のイベントをみんながのしむため、あきらめずがんばっていきます。



中央右が生徒会長



# 寄付者芳名録

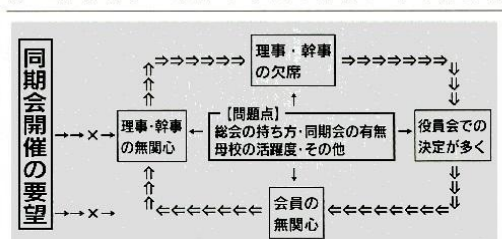
(敬称略)

# 幹事会報告

## これでいいの？同窓会。アンケートにご協力を！

書記 田中健司

毎年7月中旬に、卒業時に期の代表として選出された学年理事と、卒業後同窓会等でお世話いただいた学年幹事と、役員で「同窓会幹事会」を開催いたしております。しかし、写真の様に大変さびしい状態です。魅力ある同窓会活動、母校の活躍、同窓会の開催、クラブのOB会の開催など、まだまだ活動上の問題点があるのは、認識しておりますが、新しいステージに入る母校と共に、同窓会の活動方針を示し、前進したいと考えております。



である一方、各学年理事・幹事の集休体であると考えると、同窓会活動は、どうあるべきか？正に正念場に入っていると、同窓会活動が、母会の活性化の一助になればと考えるのは「厚かましい」のでしょうか？少子化、府予算の弱体化、私立高校の台頭等々、母校の環境は大変厳しいと察します。今こそ卒業生一人一人が「母校愛」を考えていただきたいのですが、色々な意見をお伺いする為にアンケートを実施します。

### アンケートの返信にご協力を！

これからは、「ご意見を聞く同窓会」をメインテーマにして、一歩一歩前進したいと考えています。ご理解・ご協力をお願いします。



アンケートと「住所変更届」ハガキ表面は同時提出形式です。アンケートを匿名希望の方は、お手数ですが、官製ハガキにて「住所変更届」を送付下さい。

## 平成12年度旭高校同窓会決算報告書

下の図の様なサイクルを繰り返さない為に、近年、幹事会報告書作成・送付等行っておりませんが、成果としては上がっておりません。

私は「役員会」は同窓会本部

# クラブ紹介

## 体操部

私達器械体操部は、三年生が引退するまでは、二十名以上の部員も、現在は、大学進学が為残ってくださっている三年生二人、二年生三人、一年生五人、マネージャー一人の計十一人で活動しています。

また、女子十人、男子一人というメンバーで、「男の子入ってくれへんかなあ。」と唯一の男子部員とぼやきながら、日々、楽しくそして、一生懸命に技術を磨いています。

私達には他のクラブとは違い、外来のコーチが指導してくださっています。試合などにも付き

添ってください。とても心強く、一人一人の力に合わせて練習内容を決めてくださるので、無理せず力が伸びていると思います。

夏休みには他校と合同の合宿ができる上に、部員どうしの絆が深まり技術も向上され、すこく大変なのですが、プラスな事がいっぱいあります。

昨年の夏の大会では、惜しくも0.2点差で賞状を逃し、とても悔しい思いをしました。次こそは絶対賞状を...と思いつ、これからも精一杯頑張ります。

器械体操部は人数は少ないけれど、アットホームで、明るいクラブです。少しでも興味があればいつでも新入部員大歓迎です。



## 放送部

原 憲弘

全国大会出場は僕にとっては自分自身を試す最後の場でした。いつもこのような大会やコンクールがある時は今の自分の存在価値が知りたいたいと思っていました。今回の出場は自分の価値を多くの人が認めてくれたという事にもなるのでとても嬉しい事でした。

いざ全国大会ということで7月24日、26日まで東京に行ってきました。僕たち放送部は僕の出した朗読以外にラジオドラマやアナウンス等でモノクローラに参加しましたが、全国への道は険しくなると僕だけが決勝に選ばれたのです。そんな訳で初日のテレビ、ラジオ部門の準々決



勝は全国にふさわしい高レベルなもので僕を含め部員達は多く

に飲まれてしまったのが緊張してしまい自分の実力を十分に生かしてやれなかったことが本当

## バドミントン 同好会

飯野 純治

成立してまだ半年も経たないバドミントン同好会ですが、本格的に活動し、試合にも出場し、ますますクラブらしくなってきました。

夏休みは体育館を使わせてもらい、毎日体がポロポロになるまで練習した結果、試合ではまずまずの成績を残しました。三年が引退し、部員は一年のみになりました。それでもがんばって練習しています。

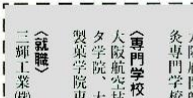
このクラブには上下関係がなく、楽しく今度の日本のことについて



て語ったり、全員がとても仲のよいクラブです。一年後には必ず今よりも、もっとももっと強いクラブになっているので、どうかバドミントン部の活躍を見て下さい。

た。正直言うと後、年早かドラマ作りができたお礼としてお返ししてくれてくれませんでした。僕の出場した朗読部門は2日目の7月25日でした。今まで大会とかコンクールとかの名前のものには馬鹿を踏んで慣れていて自分では思っていたのですが、周りの雰囲気

に心残りでした。準々決勝の4番目に順番がまわってきました。朗読の席に向かうまでの一歩が重く感じ、まるで席が逃げているようにいつまでもたつて席に着かない、それくらい長く感じました。ようやく席に到着しても読み始めるまでのたった数秒の間ですら長く感じました。今、この場所に自分自身が座っている。結果がどうなるかはわからないけれど今は自分を信じて精一杯楽しんでみよう。その中で自分に言い聞かせ自分の原稿を読み始めました。最初はなかなか自分らしい朗読が出来ず、苦悶しましたが後半は何とか持ち直し自分の番を終えました。結果は準決勝敗退。けれど勝ち進むよりも大きなものを得た、そんな気がしました。3日目は1、2日目を勝ち残った人達による決勝でした。



- 〔国立大学〕
  - 大阪外国語大学、京都工芸繊維大学、新潟大学、大阪府立看護大学、京都府立大学、神戸市外国語大学、奈良県立商科大学、富山県立大学
- 〔私立大学〕
  - 早稲田大学、独協大学、関西大学、関西学院大学、同志社大学、立命館大学、京都産業大学、近畿大学、中津大学、龍谷大学、関西外国語大学、京都外国語大学、武庫川女子大学、京都女子大学、大阪工業大学、他多数
- 〔短期大学〕
  - 大阪府立看護大学医療技術短期大学部、関西外国語大学短期大学部、常磐短期大学、京都女子大学短期大学部、龍谷大学短期大学部、成蹊女子短期大学、武庫川女子大学、他多数
- 〔専門学校（医療系以外）〕
  - 国立大阪府立付城看護助産専門学校、大阪けいさつ病院看護専門学校、大阪府立千里看護専門学校、大阪府立看護専門学校、大阪府立看護専門学校、関西医療技術専門学校、行岡鍼灸専門学校、他多数
- 〔専門学校（医療系以外）〕
  - 大阪航空技術専門学校、大阪法律専門学校、京都コンピュータ学院、大阪電子専門学校、関西美容専門学校、大手前栄養専門学校、大阪モータースクール、他
- 〔就職〕
  - 三郷工業㈱

### 二〇〇一年度進路状況

#### 二〇〇一年度人事異動報告（敬称略）

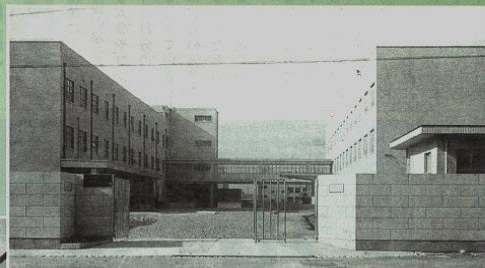
【転出】	康裕	府立羽曳野高校	頭会	平12.4～平13.3
大西	典子	府立門真南高校	教	平4.4～平13.3
清	建策	旭高校	数	昭63.4～平13.3
東	裕二	府立門真西高校	学	平元.4～平13.3
横田	晃	府立門真なみはや高校	科	昭60.4～平13.3
樋上	晃子	府立淀川工業高校	理	平7.4～平13.3
田村	真紀	府立紫島高校	体	平7.4～平13.3
窪田	一彦	府立布能北高校	育	平9.4～平13.3
河越			庭	
			長	
			事務	
【転入】	豊	府立生野高等学校より	教	頭
佐野	健夫	府立門真南高校より	数	学
河瀬	幸三	府立門真南高校より	理	科
岡	伸三	府立門真南高校より	体	育
北島	智子	府立守口東高校より	体	家
吉田	淳子	府立門真南高校より	庭	語
村上	淳子	府立守口東高校より	長	長
山	洋	府立久米北高校より	事	務
遠藤				

# 祝 旭高校創立50周年の歩み

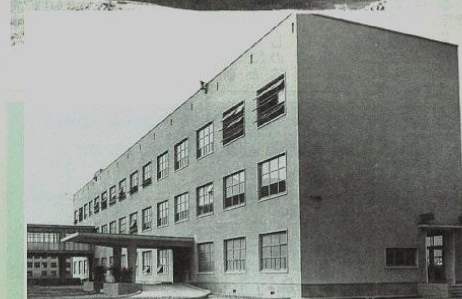
南館竣工 (1953. 9. 15)



第一期工事 (南館) (1953)



校舎 (1954)



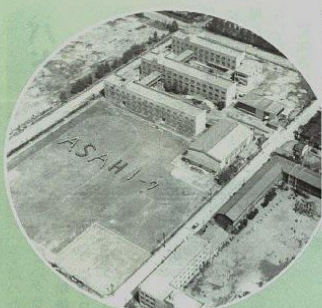
本館竣工 (1954. 6. 30)



玄関 (1954)



旭窓会館竣工 (1959. 3. 20)

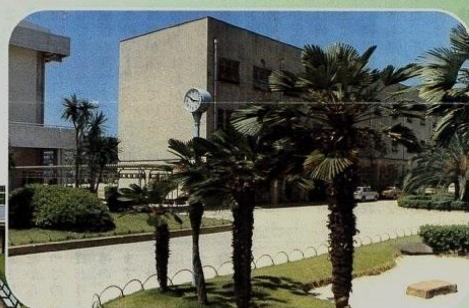


1961年



1966年

中庭 (1991年頃)



南館と体育館 (1979年頃)



現在 (1995年撮影)

## 名簿発行のお知らせ

- ・平成14年8月下旬発行
- ・創立50周年記念版
- ・予約頒価 4,200円 (送料・税込)
- ・調査用往復はがき発送 11月初旬
- ※住所等データの変更のご連絡は後日送付の調査カードにてお願い致します。
- ※ご返信なき場合、名簿作成会社 (株) サラトよりお電話することがございます。
- ・お問い合わせ先電話 008822-3302 (内線636)
- 受付時間 9:30~12:00 13:00~16:00 (土曜・日曜・祝日を除く)



打ち合わせのため来社された役員と記者撮影 (サラト本社前にて)

official

## 旭窓会ホームページを開設!!

皆様お元気でございまして、ご存じのことと存じあげます。いつも同窓会に対して、ご理解とご協力を頂き心よりお礼を申し上げます。7月の役員会にて「同窓会公式ホームページ」の開設が承認され、立ち上げました。「さあ、どしどしアクセスしてネットワークしましょう！」 副会長 中島 宏

HP URL <http://www.kyokusoukai.net/>  
E-mail [jimukyoku@kyokusoukai.net](mailto:jimukyoku@kyokusoukai.net)

※ご提案、ご意見、ご質問はE-mailでよろしくお願ひ申し上げます。

旭高校 HP URL <http://www.edu-c.pref.osaka.jp/~f10454m>